

令和3年 第2回五ヶ瀬町議会定例会 一般質問

期日：令和3年6月4日（金）午前10時～

場所：議会議事堂

通告 番号	議員名	・質問事項（執行部答弁書 要/不要）
1	秋本 良一	・ 向坂山白岩山周辺のグリーンシーズン利活用について（不要）
2	佐藤 成志	・ 五ヶ瀬町の今後の教育は（要） ・ 小中学校でのタブレットの利用について（要） ・ 小学校の統廃合について（要）
3	渡邊 孝	・ 五ヶ瀬町に人と仕事を取り戻すための考えは（要） ・ 消防団組織について（要）
4	小笠 まゆみ	・ フレイルの現状と対応について（要） ・ 子供の貧困の現状と対応について（要） ・ 備蓄品の管理と更新について（要）
5	甲斐 松男	・ 地域活性化施設への取り組みは（要） ・ 町の産業振興の方向性について（要）
6	白瀧 徹哉	・ 地域づくりの「小さな拠点」形成について（要） ・ 2期目の成果と次期町長選への考えについて（不要）

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
1	秋本 良一 (議席番号：4)	1 向坂山白岩山周辺のグリーンシーズン利活用について	向坂山（標高 1,685m）、白岩山（標高 1,646m）周辺は高山植物の宝庫となっている。特に白岩山は、宮崎県天然記念物として 1942 年 6 月 23 日に白岩山石灰岩峰植物群落地として指定され、今年で 80 年を迎える。 近年シカの食害により、希少植物の絶滅が心配されたが、九州森林管理局の事業、また、地元の有志のご尽力により、調査や防護柵の設置が行われ、その成果でここ数年植物の再生が見られており、その植物を目当てに、また癒しを求めて、県内外から多くの入山者が増えている。 向坂山山麓にある五ヶ瀬ハイランドスキー場も 1990 年に開場され、1998 年に企業による第三セクターとして設立後、営業努力のもと、昨シーズンは若い人たちが増えていた。 今後、冬季のみでなく、自然環境を活かした、オールシーズン老若男女が利活用でき、地域経済も生まれる改善が必要と思う。標高 1,600m までインフラ整備されており、その森林空間に新しいスタイルを加えた利活用施策が今最も重要であるが、町長の考えを伺いたい。	町 長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
2	佐藤 成志 (議席番号：2)	1 五ヶ瀬町の今後の教育は	今後どの様に五ヶ瀬の教育を進めて行くのか、教育長の思い、考えを伺いたい。	教育長
		2 小中学校でのタブレット利用について	全児童・生徒にタブレットを配付しているが各家庭の環境整備などの対処は。又、教職員のタブレット活用は十分になされているか。	教育長
		3 小学校の統廃合について	児童数減少に歯止めかからず、今後の見通しも非常に厳しいものがある。 小学校統廃合の考えは。	町長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
3	渡邊 孝 (議席番号：1)	1 五ヶ瀬町に 人と仕事を取り 戻すための考え は 2 消防団組織 について	現在、全国的な人口減少と、それに伴う地方の衰退が問題となっている。 本町においても10年後・20年後の町の状況を考えた時、何らかの施策が必要不可欠だと思うが、現時点での考えを伺いたい。 また、長期的・持続的な人口減少に歯止めをかける意味からも、将来に向け総合的計画が必要と思う、その考えも合わせて伺いたい。 (関連質問) ○企業誘致の働きかけの状況 ○住宅環境の整備状況 火災や自然災害が発生した場合、地元住民の後方支援が重要だと思うが、今後どう対応するか。 (関連質問) ○五ヶ瀬町機能別消防団について ○消防操法大会の現状と今後について	町 長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
4	小笠 まゆみ (議席番号：7)	1 フレイルの 現状と対応につ いて	以前にも質問したが、長引くコロナ禍の 生活で、引きこもりなどが増え、虚弱が起因 となり、病状の悪化、四肢の衰弱、精神的な 疾患などが全国的に増加傾向と聞く。現状 把握に変化があるのか。又、新たな取り組み がなされているか。	町 長
		2 子供の貧困 の現状と対応に ついて	国においても、子どもを守るための施策 が色々行われているが、五ヶ瀬の現状を どう把握しているか。 1. ひとり親世帯数と、そこに対する特別な 支援が行われているか。大型連休などは 問題なかったか。 2. 子ども食堂、土日祭日の居場所の必要性 をどう考えているか。	教育長
		3 備蓄品の管 理と更新につい て	災害の多くなる時期になってきたが、備 蓄品の管理はどの程度確保しているか。コ ロナが終息しない中での避難生活に万全を 期しているか。備蓄品の更新はどのように 行われているか。	町 長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
5	甲斐 松男 (議席番号：6)	1 地域活性化施設への取り組みは	中央自動車道、蘇陽・高千穂間の事業採択で将来のストック効果が見込まれる。町をPR出来るチャンスである。五ヶ瀬の特産品・農産物に付加価値を付けた直売所を含め宣伝出来る環境を整える必要がある。道の駅構想が白紙になっている今後、どう拠点作りを進めて行くのか。	町 長
		2 町の産業振興の方向性について	基幹産業の農林業の振興に対して、第一次産業プロジェクトを立ち上げ、持続可能な町づくりに取り組まれている。しかしながら、一向に目指す具体的な将来像が見えて来てない気がしている。今後の展開をどう進めるのか。	町 長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
6	白瀧 徹哉 (議席番号:5)	1 地域づくりの「小さな拠点」形成について 2 2期目の成果と次期町長選への考えについて	鞍岡中学校が廃校して6年目を迎え、ようやくぎおんの里づくりの拠点として再スタートする事となった。住民主体による協議会、運営となるが地域の抱える問題も異なり、危機感の温度差もある事から多難が予想される。持続可能な地域(協議会持続)を目指すために次の事を伺う。 1. 小さな拠点づくりの町としての意義について 2. 行政との連携、地域の声に応じた財政支援について 3. 町全域への普及と事業達成の考え 来年5月に任期満了に伴う町長選が行われる。町長は就任にあたり選挙公約10項目を掲げ、地域活性化に取り組むとされたが、人口減少、第三セクター問題、定住者向け住宅不足等対策の遅れを感じる。今期の成果と課題及び次期町長選への考えを伺う。	町 長 町 長